|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| E:\My Documents\My Pictures\h1_27100.gif

|  |
| --- |
| 271215 |
| (仮称)大阪市強靭化地域計画策定チーム会議 **資料○**  |

**天王寺・阿倍野駅周辺地区****帰宅困難者対策計画** 本計画は、協議会として「活動の全体像・方向性の共有」「課題の的確な整理及び対策の深度化」「行政と事業者等の関係者が連携した災害時の対応体制の構築」を図ることを目指して策定するものである。公表版天王寺・阿倍野駅周辺地区帰宅困難者対策協議会2019年2月 |

目次

|  |  |
| --- | --- |
| **第１章　総則** | **1** |
| 　　１　目的 | 1 |
| 　　２　用語の定義 | 1 |
| 　　３　天王寺・阿倍野駅周辺地区の状況 | 2 |
| 　　４　計画の位置付け | 8 |
| 　　５　事業者・行政・帰宅困難者の役割分担 | 9 |
| 　　６　基本的な帰宅困難者対策 | 9 |
|  |  |
| **第２章　事前対策** |  | **12** |
| 　　１　情報提供拠点の確保 | 12 |
| 　　２　一時滞在スペースの確保 | 12 |
|  |  |
| **第３章　応急対策** | フェーズ１ 　災害発生　フェーズ２ 避難行動フェーズ３ 一時滞在スペースでの対応 | **13** |
| 　　１　情報連絡体制 | 13 |
| 　　２　情報提供拠点の運営 | 14 |
| 　　３　一時滞在スペースの運営 | 14 |
|  |  |
| **第４章　帰宅行動** | フェーズ４ 帰宅行動 | **14** |
|  |  |
| **第５章 今後の検討課題** | **14** |
|  |  |
| **（参考資料）** | 15 |

本計画は、廣井悠氏（東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻 准教授）に助言・監修いただいたものです。

2019年2月

**第１章　総則**

**１ 目的**

* この計画は、災害対策基本法及び大阪市防災・減災条例の趣旨に則り、大阪市及び天王寺**・**阿倍野駅周辺地区の事業者がそれぞれの責任と役割を果たし、連携した天王寺・阿倍野駅周辺地区での混乱防止を図ることを目的とし、帰宅困難者対策を円滑に行うための「天王寺・阿倍野駅周辺地区の統一的な指針」として、本計画を策定するものである。

**２ 用語の定義**

* 本計画で使用する用語について、次の通り定義する。

|  |  |
| --- | --- |
| 用　語 | 定　義 |
| 帰宅困難者 | * 災害が発生した場合において、公共交通機関の運行の停止等により、徒歩で容易に帰宅することができない者
 |
| 情報提供拠点 | * 駅周辺等に滞留する屋外滞留者に、災害情報や交通情報等を提供する場所
 |
| 一時滞在スペース | * 帰宅困難者（屋外滞留者）を一時的に受け入れる施設
 |
| 屋内滞留者 | * 帰宅困難者のうち、各施設内にいる者（従業員等、来所者、生徒等）で、屋内に滞留する者
 |
| 屋外滞留者 | * 帰宅困難者のうち、行き場がなく、屋外に滞留する者
 |
|  |  |